

Q1. 試験施工(装置の機械損料、人件費、運搬費、調査費など)の費用は予算として出して頂けるのでしょうか？

A. 今年度は技術的観点より優れた技術を選定します。よって、試験施工等を実施することは来年度以降となります。費用については、技術の熟練度、実績、規模、維持管理費等々採用された技術によって様々なケースがあると想定されます。ですので、試験施工の是非も含めて今年度の技術選定後に協議しながら進めていく形をとらせていただく予定です。(今年度の技術選定後、必ず現地試験を実施しなければならないというものではありません。双方の合意が前提です)

Q2. 公募閲覧資料として、既往検討概要一覧が掲載されており、吉野川ダム統合管理事務所にて閲覧可能とありますが、直接貴事務所へお伺いしないと見られない書類なのでしょうか？もし、電子データとして閲覧可能であれば、メールまたは郵送で送って頂くことができるのでしょうか？

A. 閲覧資料に関しましては、原則貸与することができません。直接当事務所へ来ていただきたいと思います。成果そのものは貸与出来ませんが、来所いただいた際、必要箇所を当事務所でコピーすることは対応させていただいています。

Q3. 放流濁度が10度～15度位に見受けられますが、当方濁水(放流)処理では25度位前後が目安ですが、10度以下での放流を、求めておられるのでしょうか？

A. そうです。(現在、濁水対策効果の評価基準として、放流濁度10度以下を評価しています。)

Q4. 水温躍層部分は、ダム湖水面より、約何m位の深さでしょうか？(濁水時は変わると思いますが)

A. 貯水位にもよりますが、夏期は、20～30m程度の深さです。(なお、冬期はご存じのように、温度躍層はありません。)

Q5. 土砂巻き上げ区間は、どの程度の距離でしょうか？

A. 貯水位にもよりますが、最大で約10km程度です。